

令和3年度 第3回米沢市行政経営市民会議 会議録（確定版）

【日時及び場所】

日時 令和4年3月18日（金）午後1時30分～
場所 庁議室

【出席者】

市民委員 石川栄樹委員、五百川満委員、岩崎令子委員、大竹茂委員、加藤英樹委員長、佐藤幸治委員、柴田正孝委員、須貝容子委員、砂川和彦委員、中川恵委員、兵庫浩子委員

（杉本俊之委員、武田直子委員、長谷川大輔委員は欠席）

本部委員 副市長、総務部長、企画調整部長、市民環境部長、健康福祉部長、産業部長、建設部長、上下水道部長、会計管理者、市立病院事務局長、議会事務局長、教育管理部長、選挙管理委員会事務局長、監査委員事務局長、農業委員会事務局長（教育指導部長は欠席）

事務局 総務課長、財政課長、教育総務課長、政策企画課長、政策企画課長補佐、政策企画課主任（政策企画課経営政策主査は欠席）

【次第】

- 1 開会
- 2 副市長あいさつ
- 3 委員長あいさつ
- 4 議事
(1) 公共施設等総合管理計画（見直し）の報告
(2) 今後の財政見通しと推計方法について
- 5 その他
- 6 閉会

【議事要旨】

2 副市長あいさつ

副市長 今日はおいでいただきありがとうございます。今年の冬を象徴するかのような雪の日となりました。私たちは手分けして小中学校の卒業式に出席していますが、私が中学校に行かせていただいた時に、あるシーンで3年生全員がマスクを外して元気な顔を見せてくれて、すごく輝いて凛々しく見えて良いと思ったところです。今日は三沢西部小学校に行きましたが、卒業生が4人でした。式辞で校長先生は、来年度が創立100年だが4月の入学者が0人であり、あと1年でこの学校が閉まると話され、私も様々なことを考えながら参加したところです。文藝春秋4月号に7月にマスクを外そうという文が寄稿されていました。それを読むと3つの条件があり、1つ目は3回目のワクチン接種、2つ目は抗ウイルス薬の普及、3つ目はウイルスの弱毒化ということでした。マスクは病原体に感染する機会を

奪って、小さい時にある程度の病原体にさらさないと大人になってから重症化する可能性もあるという文章でした。何とか7月にマスクを外したいと思っています。今日はよろしくお願いします。

3 委員長あいさつ

委員長 皆さんこんにちは。寒い中出席いただきありがとうございます。副市長の話にもありましたが、本当にマスクを早く外したいものだと思いますし、コロナの早い収束を望むばかりです。今日は第3回行政経営市民会議ということで、今年度最後となります。報告が中心で時間も限られています。忌憚のない意見を頂戴したいと思いますので、よろしくお願いします。

4 議事

(1) 公共施設等総合管理計画（見直し）の報告

委員長 20年というスパンの計画ですので、必要な見直しを加えながら推進していくことが基本だと思いますが、各委員の意見や質問をお願いしたいと思います。

委員 一般論としての質問ですが、維持管理費用を縮減していく時に一般的には外部委託というようなやり方があると思うのですが、そうした運営の仕方に関する本市の考え方はどのようになっているか説明いただければと思います。

事務局 一般的には民間委託ですとか様々な考え方があると思いますが、指定管理者制度など既にやっているものもありますので、そういったものを引き続き行いながら検討していきたいと考えています。

委員 現在、保育施設に自分の子どもを預けていて、あり方検討会という形の説明会を何度か市としたり、運営委員の方と1年間話したりしました。財政が厳しいので建物の統廃合も致し方ないという方もたくさんいたのですが、地元愛が強い方は絶対なくしては駄目だとか、意向は分かるが住民の考えを全然酌み取らないままに突然なくすというのはどういうことかというような話もたくさん出ました。人口も減少しているので仕方ないことですが、なくなる場合に市としてこういったものを考えています、提供できますなど、夢や希望というかそういったものを一緒に提示いただけると建設的な話ができるのではないかと感じています。財政健全化で延床面積を減らすことは非常に大事なことで、方向性は間違っていないと思うのですが、これを同じ形で市民に説明した時にどれほどの人が納得するのか考えると、市民がやる気になるようなことを提示いただければ、あり方検討会も上手く進んだのではないかと思います。来年度もこういった場で話があるかと思うのですが、そういった計画があれば併せて提示いただける

と応援や議論がしやすいと思います。次の会議で時間があれば、市の方針というか夢のある施策を実現するための計画や資料がありましたら、見せていただきたいと思います。

事務局

財政問題は市の問題だけではなく、市民全員に関わることだということを最初に伝えていくことが大事だと思っています。個別に見ると将来の夢を描けないところもあって、ただ廃止しなければいけないところもあったりするので難しいこともあるのですが、例えば学校だと、統合することで子どもたちの環境を良くしていくことがありますので、しっかり説明していく必要があると思っています。

委員

20%削減していくことについて、具体的に何の施設が削減されていくのかということに興味があります。また、デザインの仕事をしていることもあって、今回から追加されているユニバーサルデザインを取り入れるというところについては良い面と悪い面があり、ユニバーサルデザインを取り入れると誰もが分かりやすくはなりますが、逆にその地域の良さや特性が薄まってしまうという面もあり、他地域を見ていてもつたいないと思うことが多々あります。そういったところのバランスをとりながら、本当にユニバーサルデザインだけを見れば良いのかということも一緒に考えてもらえると良いのかなと思います。

事務局

資料を添付していなく、昨年度個別施設計画を作っていて、この中の図表を見ていただくと分かるのですが、特に学校教育系施設は適正規模適正配置ということで、子どもの数が減っていく中で統廃合を進めていくことで面積を縮減できるのではないかと考えています。それから大きなところでは公営住宅、市営住宅になりますが、老朽化が進んでいて入居者数も減少している部分がありますので、集約化を図るとともに入れない人は別途アパート等を提供するなどし、建物系施設の20%削減を考えていきたいと思っています。ユニバーサルデザインは、委員がおっしゃったとおり、米沢らしさは重要だと思います。一律化したユニバーサルデザインではなく、使いやすく、米沢らしさを踏まえた上での施設整備を今後図っていきたいと考えています。

委員

馴染むか馴染まないかは別ですが、命名権、ネーミングライツについて、県内でもネーミングライツをしているところが徐々に増えていまして、山形県民ホールは県民という言葉を必ず入れるということで、やまぎん県民ホールになっています。例えば、施設名の後に会社名を入れるなど、八幡原工業団地に進出企業もたくさん来ているので、公共施設を20%削減するというある意味暗い状況になる中、ネーミングライツで明かりを灯すということや、硬い名前だと覚えられないのですが、会社名だと頭の中に入って

くるところもあると思いますので、その辺りの考え方があればお願いいたします。

事務局

歳出の削減は重要ですが、歳入の増加という視点も非常に重要なものであると考えています。庁内でもそういった議論をしたことがあるのですが、そこまで至ってないのが現状です。米沢にもたくさんの企業があり、特に体育施設は他市町村でも導入事例がありますので、十分研究して今後そういったものに対応できるか考えていきたいと思っています。

委員

計画が20年の長期に当たるということで、様々な社会情勢の変化があると思います。コロナやウクライナ情勢等による資材高騰にも対応しながら、市民目線も大事にしながら行政運営をしていただきたいと思います。

(2) 今後の財政見通しと推計方法について

委員長

財政は難しいところもありますが、意見や質問をいただきたいと思っています。数字にとらわれず財政について一般的な質問でも構いませんが、どうですか。

委員

今ベースアップと叫ばれてる中、人件費が上がったり下がったりしていますが、公務員のベースアップは誰が決めるか教えてもらえますか。

事務局

公務員の給料は民間の給料の金額を調査しまして、国の人事院が勧告という形で示して、国家公務員の給料が決まる仕組みになっています。それを受けて地方公共団体の給料は、国や周りの地方公共団体、或いは民間企業との均衡を図るという仕組みで決まっています。人事委員会を持っている自治体は人事委員会の勧告を得るわけですし、持っていない自治体は周りの自治体を考慮する形になるので、本市は人事委員会を持っていないため、県の人事委員会の取扱いに準じて決めています。以上のことから、民間の給料の動きに後追いで倣っていくという仕組みになっています。

委員

民間がベースアップできるように、生産性を上げて頑張っていきます。あと、民間では人の確保が難しいのですが、市でも厳しい状況が続いているのではないかと考えています。民間ではAIやIoTを導入して、生産性を上げて窓口業務を減らすような形で動いてますので、市でも取り入れて業務改善を図って少人数でもできるシステム作りをしていただきたいと思います。

事務局

今年度からRPA、AI-OCR等を取り入れながら、業務の効率化に努めています。来年度以降も引き続き行う予定ですので、そういったものを活用し

ながら事務の効率化を図っていきたいと考えています。

委員

今年度はとても雪が多かったのですが、雪が少なかった年は財政状況が良くなったという話も以前この会議で出たので、分かる範囲で今冬の雪の影響を教えてもらえればと思います。

事務局

今冬の除排雪経費は3月の追加補正で4億円を追加しまして、総額で16億円の補正予算を組んでいます。それに伴いまして、ほぼ一般財源が出ていく形になりますので、財政的には影響が大きいです。本日、特別交付税の金額も示されまして、昨年大雪だったわけですが、その時で12億円余りだったのですが、今冬は16億円が措置される形になっています。国もそういったところを考慮して財源措置をしていますので、必ずしも大雪で出ていくお金が多くなるだけではないということもあります。

委員

そうすると令和4年度の見込みは単年度収支で赤字にならない見通しになりますか。

事務局

あくまで今年度の除排雪経費と特別交付税の関係を申し上げたこととなりますので、来年度は来年度の見通しの中でのものとなっています。来年度は例えば繰越金等が多くなるわけですが、ここにおける計算上、実質単年度収支は繰越金等を除き単年度だけの収支ということになりますので、令和4年度の見込みは動かないと考えています。

5 その他

事務局

次年度はまち・ひと・しごと創生総合戦略や公共施設等総合管理計画の進捗状況等について報告したいと考えています。今後、委員の皆様は日程を改めて調整させていただきまして案内したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

6 閉会

※ 本委員会に関しては公開、会議録については要点筆記で委員の名前は記さないことになっております。